

テーマ：目標と約束・・・ゲーム・テレビ等の接触時間をめぐって

◎ねらい 子どものゲーム・テレビ等の接触時間を制限するために、保護者は「約束を作ろう」とするが、「目標」の考え方に気づくことで、「約束」の質を変えることを目的とする。

分	主な活動	留意点	準備物
2	【はじめに】 ゲーム・テレビ等の時間を制限するために、約束やルールを作ったことはありませんか。でも、それがなかなか守れませんね。約束があることによって、保護者もカリカリしてしまいます。今日は約束や目標について一緒に考えてみましょう。		
3	【アイスブレイク】		
5	【ワーク1（個人ワーク）】 約束は守って欲しいから作るのに、守れないことを想像しながら作ってしまう。ペナルティを考えてしまうのはそれがあから。約束が守れなかった場合、どのように対処しているのだろうか。	・保護者自身の正直な気持ちに向き合えばよい。本音を出すことによって「約束」について深く考えられる。	ワークシート
10	【グループでのシェア】 それぞれに書かれた内容について、「約束」の本質について考えを共有する。	・本質を見つめることで、次の目標からの学びにつながる。	
5	【ワーク2（個人ワーク）】 目標そのものについて考えた後に、約束と比較して目標を捉え直す。目標の特性は「達成するために作り、それに向けて努力する」こと。親子の喜びにつながる目標を意識してもらう。	・記入に困っていたら、親子で作った小さな目標でもいいですよ、できなかった時にどう励ましましたか、と声かけする。	ワークシート
10	【グループでのシェア】 それぞれが考えたことを出し合い、自分たちなりの約束と目標の共通点と相違点を意識する。	・基本的にはグループを見守ればよい。	
8	【ワーク3（グループワーク）】 ゲーム・テレビ等よりも優先する目標（子どもがやりたくなる目標）を見つける。時間が少ないので、最初からグループでの意見交換でもよい。	・過去の経験や新しいアイデアから触発されるとよい。	ワークシート
2	【まとめ】 ゲーム・テレビ等に限らず、親子で考えて決めた「目標」を達成することは嬉しいですね。守れなくて叱られる約束よりは、達成できてうれしくなる目標を作る、というポジティブな意識に少しでも変わるといいですね。そのためには、子どもが小さいうちから目標の共有とその達成ができるよう支援していくことが大切ですね。		